



# 京築広域景観テーマ協定

京築連帯アメニティ都市圏推進会議  
京築広域景観協議会準備会



平成 22 年 5 月

## 京築広域景観テーマ協定 目次

序 目的と役割 …………… P. 2	3 実現に向けた取り組み …………… P.20
1. 目的	地域活動の活性化と広域連携
2. 役割	担い手を育てるための仕組みづくり
3. 対象地域	ルールづくり
4. 京築地域の広域景観の特性	体制づくり
1 テーマ…………… P. 6	資料編 …………… P.23
「みち文化と清流文化の連帯が奏でる“豊姫の国”の景観」	資料—1：協働して守り育てる景観
2 目標と方針…………… P. 8	資料—2：テーマ協定策定の流れ
1. 目標	
目標1：北豊連山と豊前海の大地形を望む 眺望の景観づくり	
目標2：歴史が重なりあう みちの景観づくり	
目標3：豊かな恵みを育む 清流の景観づくり	
目標4：人々のいとなみを伝える 文化の景観づくり	
2. 方針	
方針1：絵になる眺望景観を守り育てます	
方針2：自然が移り変わる景観を守り育てます	
方針3：みちが伝える歴史景観を守り育てます	
方針4：みちでつながる景観を守り育てます	
方針5：多様な生態系を育む豊かな自然景観を守り育てます	
方針6：豊かな恵みがもたらすなりわいの景観を守り育てます	
方針7：人々のなりわいとともにも伝わる祭礼景観を守り育てます	

## 1. 目的

古代、九州の政治と文化の要衝として栄えた京築地域には、山々や川、海が織りなす豊かな自然景観が広がり、神楽や神幸祭、山笠等、古くから受け継がれてきた祭礼行事が季節の折々に演じられ、地域の景観に彩を与え、特徴的な景観を有しています。

しかしながら、京築地域の農山漁村の多くは過疎化、高齢化に直面し、これまで人の手により維持されてきたいとなみの景観もその維持が難しくなっています。

平成18年度に福岡県と京築地域の2市5町で構成する京築連帯アメニティ都市圏推進会議は、個々の地域資源を活かし、地域全体がつながることで活力と魅力あふれる地域づくりを目指すため、『京築連帯アメニティ都市圏構想』を策定し、様々なプロジェクトを実施しています。

その主要プロジェクトの一つとして京築地域の景観の保全・活用の取り組みを進めています。

京築地域では、平尾台から英彦山、犬ヶ岳へと続く山々をはじめ、穏やかな姿を見せる豊前海、幾筋もの河川と豊かな田園地帯、古くからの交流を支えてきた歴史街道等の多様な景観を見ることができます。こうした景観は、人々のいとなみ、治水、利水、生態系、歴史、文化、伝統産業等様々な点でつながりを持っています。

自然や地域の人々と共に育まれてきた共有財産ともいえる景観を保全・活用するため、地域団体・NPO、市町、県、国の関係機関等が協働して取り組む指針として締結するのが、この『京築広域景観テーマ協定』です。

この「協定」は、京築地域における景観形成の方針を定め、個性豊かで美しい景観を、誇りを持って次の世代に引き継いでいくとともに、そうした景観を活かした地域の活性化を目指すことを目的としています。

## 2. 役割

この「協定」は、テーマ、目標、方針を定め、京築地域の景観形成を総合的に進めるためのマスタープランとしての役割を担います。また、市町が推進する独自の景観形成の取り組みを後押しするものでもあります。

今後、京築地域の景観を広域的に守り育てていくため、この「協定」を基に、景観法を活用した「京築広域景観計画」の策定に着手します。

(豊前市は、景観行政団体として求菩提地区を対象に景観計画を策定しています。)



### 3. 対象地域

テーマ協定の対象地域は、行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町の2市5町を範囲としています。

これらの区域は、山並み、川、田園、海等の広域にわたる景観要素を共有する区域であるとともに、歴史的、文化的な観点からも相互に関係を持つ区域です。

◆京築広域景観テーマ協定の対象区域



## 4. 京築地域の広域景観の特性

### ● 北豊連山と豊前海がつながる京築の原風景

京築地域には、北部から南部にかけて、カルスト台地が広がる平尾台、九州の修験信仰の中心である霊峰英彦山、犬ヶ岳等の山々が連なる北豊連山がそびえ、幾筋もの清流が谷筋を形づくり、遠浅で穏やかな豊前海に流れこむ大地形があります。

山並み、谷筋、丘陵、平野、海といった地形が広域的につながることによって大地形を形成し、京築地域の景観を特徴づけています。

こうした大地形が形づくる景観は、京築地域の原風景として、この地域に暮らす人々の心の中に刻まれています。

＜北豊連山（ほっぽうれんざん）とは＞

平尾台から英彦山、犬ヶ岳に至る一帯が豊前の国の北半分を占めていることから、今回のテーマ協定ではこれらの山々を「北豊連山」としています。

### ● 往来の文化が伝える京築の歴史の景観

京築地域は、畿内と九州、大陸とを結ぶ交易の要衝として、繁栄してきました。古代の大宰府と宇佐神宮を結んだ大宰官道や近世の小倉と中津を結んだ中津街道沿いに発展した町並み、近代の石炭を運ぶために田川と行橋を結んだ豊州鉄道沿いや産業発展とともに形成された市街地等、様々な歴史が折り重なって形成された町並み景観があります。

こうした沿線には、豪族の墳墓や神籠石等の史跡や豊前国府跡、多くの八幡神社等があり古代の政治の中心として栄え、ヒト・モノが往来した証も残されています。また、姥が懐や八幡古表神社等の古代の姫達にまつわる歴史資源が点在しています。

各時代・各地域で育まれてきた歴史や伝説、人々のいとなみ等のみちのつながりがもたらした文化と歴史資源が数多く点在しています。

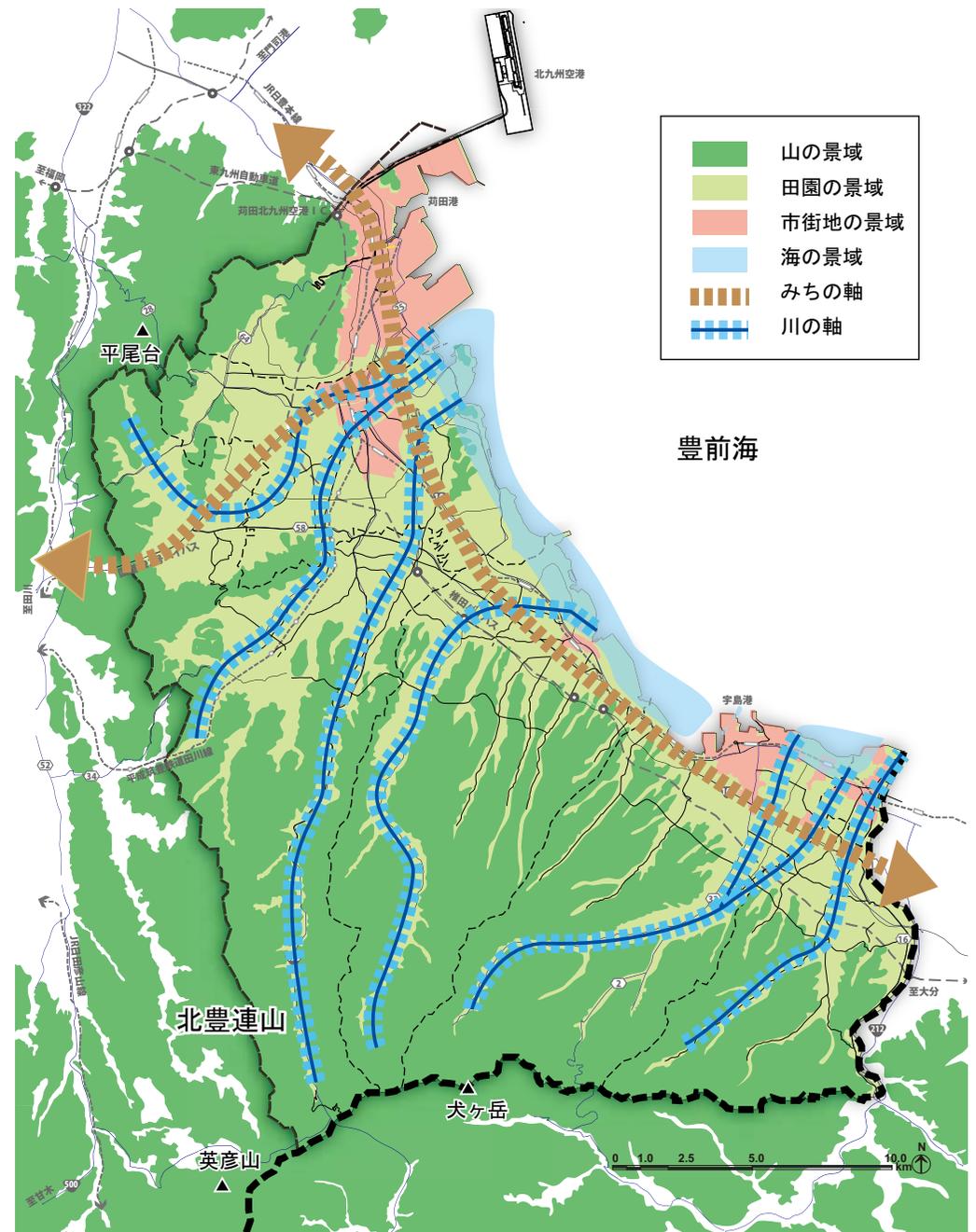
## 清流が育む京築のなりわい文化の景観

京築地域は、豊前海に注ぐ幾筋もの清流や人々のいとなみを支えるため池が数多く見られます。

こうした清流やため池等の「水」のつながりは、クマタカ、カワセミ、ホタル、アオギス等の多様な生態系を有する豊かな自然を育てています。

また、谷あいの棚田や丘陵地の果樹園、平野や干拓地の田園、豊前海の養殖漁場等のなりわいも支え、一粒牡蠣やガザミ、アオノリ、米やユズ、豊後ウメ、イチジク等の海の幸山の幸を育てています。

「水」のつながりは、五穀豊穡を願う松会や神幸祭、神楽、楽打ち、お田植え祭り等の独自の伝統や文化、四季折々の祭礼行事を生み、個性的で文化的な景観を形づくっています。



## みち文化と清流文化の連帯が奏でる“豊姫の国”の景観

京築地域の美しい景観は、太古より今日まで受け継がれてきた山並み、谷筋、丘陵、平野、海といった大地形によって形づくられています。

その上に、古代より伝来してきたみち文化がつくりだす景観と、河川沿いに育まれるなりわいやいとなみを礎とした清流文化がつくりだす景観が重なり合い、時代の変化とともに少しずつ形を変えながら今日へとつながってきたものが“豊姫の国”の景観です。

この景観を活かしたまちづくりには、京築地域の連帯による取り組みが求められます。

住民、NPO、企業、行政等様々な主体が様々な垣根を越え、京築地域の景観を守り育て、新しい魅力を生み出すために、広域的に参画、連携、協働し、京築地域全体で奏でる景観を未来へ引き継いでいきます。

## ＜豊姫の国とは＞

京築地域は、大陸から技術を持った人たちが移り住み、豪族たちが活躍していた古代には豊の国と呼ばれていました。

また、この地域には様々な姫にまつわる伝承に彩られた歴史資源が点在しています。

訪れる人々をもてなし迎え入れる、穏やかでやさしい景観を形成している京築地域の景観を象徴的に表現する言葉として“豊姫の国”を今回のテーマ協定で設定しました。



＜八幡古表神社（吉富町）＞



＜龍日賣神社（行橋市）＞



＜青龍窟（苅田町）＞



＜豊日別宮（行橋市）＞

## ◆京築に伝わる姫達の伝説

### ①台予（神功皇后）

邪馬台国の首長といわれた台予と同一化して伝えられています。京築地域が含まれる北部九州一帯は、この神功皇后（じんくうこうごう）の時代にかけて統一されたといわれ、八幡古表神社には、（おきながたらしひめのみこと）息長帯姫尊（神功皇后）として祀られています。

### ②豊玉姫

行橋市沓尾の浜にある龍日賣神社（たつひめ）に祀られる姫です。山幸彦との子を産む時に龍に変身した姿を見られたため、海に帰ったといわれています。

苅田町の青龍窟にも、豊玉姫の化身である青龍大権現を祀ったといわれています。

### ③豊比咩命

香春岳にある、古宮八幡宮に祀られる姫です。香春岳周辺で産出される銅から作られた神鏡を、味見峠を越え今川を渡り豊日別宮等を経て宇佐八幡宮に献じたといわれています。